

HP Service Health Reporter

ソフトウェアバージョン: 9.40

レポートのハンドブック

ドキュメントリリース日: 2015年1月
ソフトウェアリリース日: 2015年1月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2010 - 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標

Adobe™ は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft® およびWindows® は、Microsoft Corporationの米国登録商標です。

UNIX® は、The Open Groupの登録商標です。

Javaは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別番号が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを使用するには、HP Passportに登録してサインインする必要があります。HP Passport IDに登録するには、次のURLを参照してください。<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passportのログインページの [New users - please register] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

次のHP SoftwareサポートオンラインWebサイトをご覧ください。<http://www.hp.com/go/hpsupport>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関する詳細情報をご覧ください。

HPソフトウェアのオンラインサポートでは、セルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート契約の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の確認
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。To register for an HP Passport ID, go to:

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセスレベルに関する詳細は、以下のWebサイトにアクセスしてください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このWebサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です

目次

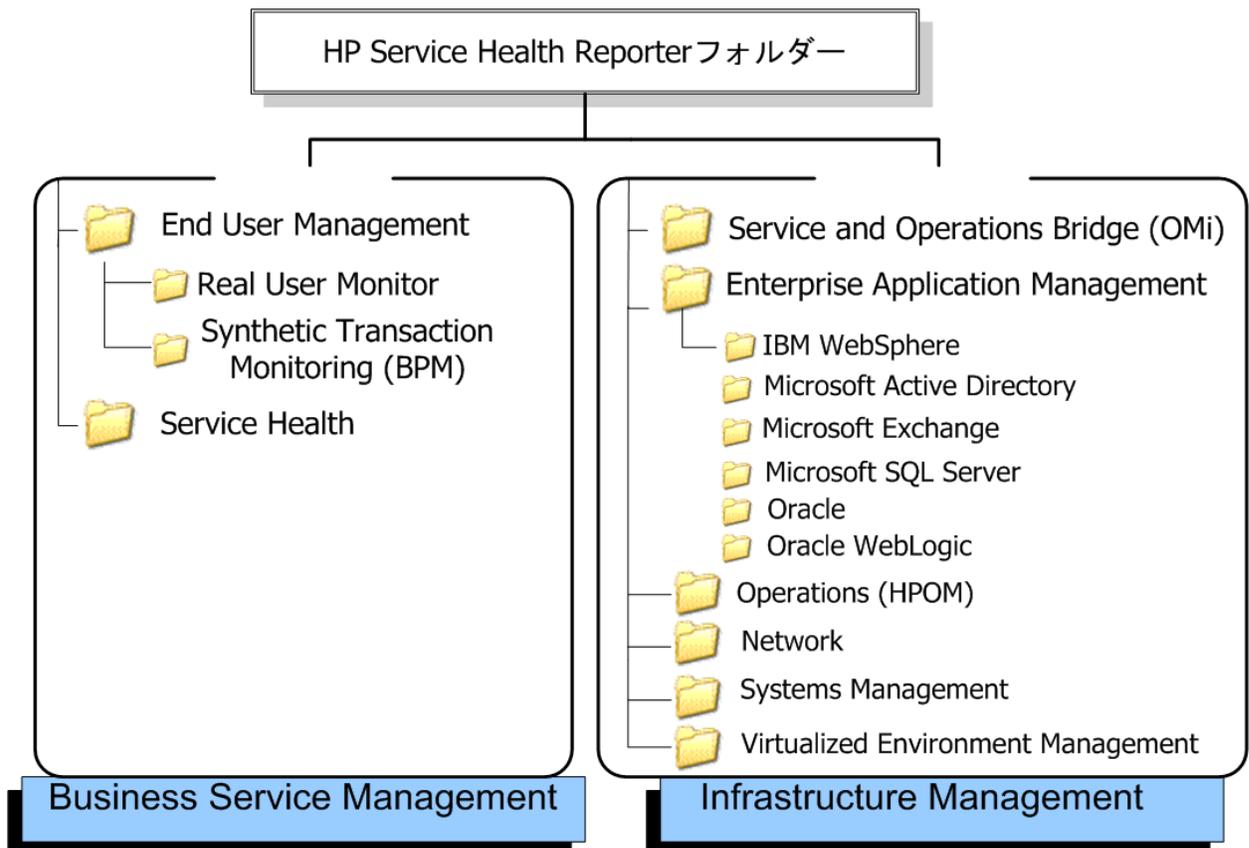
| | |
|---|----|
| 第1章: はじめに | 5 |
| 第2章: Business Service Management | 6 |
| Real User Monitor (RUM) | 6 |
| Synthetic Transaction Monitoring | 9 |
| Service Health | 11 |
| 第3章: Infrastructure Management | 13 |
| Enterprise Application Management | 13 |
| IBM Websphere | 13 |
| Microsoft Active Directory | 15 |
| Microsoft Exchange | 17 |
| Microsoft SQL Server | 19 |
| Oracle | 21 |
| Oracle WebLogic | 24 |
| Mashup reports | 26 |
| Network | 26 |
| Operations (HPOM) | 28 |
| Service and Operations Bridge (OMi) | 30 |
| System Management | 32 |
| Virtualized Environment Management | 36 |
| ドキュメントに関するフィードバックの送信 | 41 |

第1章: はじめに

本書は、HP Service Health Reporter (SHR) で利用可能なすべてのレポートの概要を説明します。レポートは大きく次の2つのカテゴリに分かれています。

- Business Service Management
- Infrastructure Management

次の図は、この2つのカテゴリでサポートされているレポートフォルダーを一覧で示しています。



第2章: Business Service Management

Business Service Managementカテゴリには、リアルタイムおよびシミュレーションの両方のエンドユーザー監視に関するレポートが格納されます。関連のKPIおよびHIのステータスに基づきサービスの状況を示すレポートも含まれます。

Real User Monitor (RUM)

RUMレポートは、プロファイルデータベースから収集した履歴データを使用し、クライアントマシンとサーバー間のエンドユーザーおよびシステムの両方が始動したネットワークトラフィックデータを提供します。このレポートはまた、エンドユーザーグループおよびサーバーセッションに関するデータ、エンドユーザーグループがアクセスするビジネスアプリケーションのパフォーマンス、およびある一定期間中に発生したエラーも表示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|-------------------------|--|
| Executive Summary | RUMアプリケーションインフラストラクチャ予測 | 選択したビジネスアプリケーションの応答時間、サーバー時間、ネットワーク時間、セッション数などのアプリケーションサマリー情報と、ビジネスアプリケーションをホスティングするノードのインフラストラクチャの30日間にわたる使用率を表示します。また、このレポートは次の30日、60日、および90日の期間について、ビジネスアプリケーションによるCPU、メモリ、およびファイルシステムの使用率予測も表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|-------------------------------|---|
| | RUMアプリケーションインフラストラクチャサマリー | ビジネスアプリケーションが実行されるノードのリソース (CPU、メモリ) 使用率と、選択したビジネスアプリケーションの可用性と応答時間に関する統計情報とグラフ情報を表示します。これは、ビジネスアプリケーションをホスティングするRUMの監視対象システムのSystem Performanceデータを表示するドメイン間レポートです。 |
| | RUMアプリケーションセッションサマリー | RUMから収集した履歴データに基づいて、最多および最少のセッションイベントを生じた上位5つと下位5つのビジネスアプリケーションのリストを表示します。 |
| | RUMアプリケーション上位N個のインフラストラクチャ使用率 | RUMから収集した履歴リアルデータに基づいて、それぞれ最短および最長の応答時間を生じた上位N個と下位N個のビジネスアプリケーションのリストを表示します。表示されるアプリケーションの数量は、レポートへの入力として提供されます。これは、ビジネスアプリケーションをホスティングするノードのSystem Performanceデータを表示するドメイン間レポートです。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|-----------------------|---|
| | RUMサービスインフラストラクチャサマリー | ビジネスアプリケーションが実行されるノードのリソース (CPU、メモリ) 使用率と、選択したビジネスアプリケーションの可用性と応答時間に関する統計情報とグラフ情報を表示します。選択したビジネスサービスに関連付けられたKPIのステータスも表示されます。これは、選択したビジネスサービスのビジネスサービス状況を、ビジネスアプリケーションをホスティングするRUMの監視対象システムのSystem Performanceデータとともに表示するドメイン間レポートです。 |
| | RUM上位N個のノード | 特定の期間中にノードが処理したバイト数に基づいて、上位N個のノードのリストを表示します。ノード上のアプリケーションに関する合計要求数、接続数、平均遅延に関する情報も表示します。表示されるノードの数量は、レポートへの入力として提供されます。 |
| | RUMネットワーク使用率 | 指定期間中の、ビジネスアプリケーションのネットワーク使用率、ノード上の要求数と遅延、ノード上のアプリケーションのトラフィックスループット、すべての要求に対するノードの応答時間、リセットされた接続の数およびタイムアウトになった接続の数をグラフで表示します。 |
| | RUMアプリケーションの可用性 | 選択した期間にわたり1時間単位で、RUMアプリケーションの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------------------|----------------------------|---|
| Performance Analysis | RUMアプリケーションパフォーマンス詳細 | 選択したビジネスアプリケーションについて、指定期間中の応答時間、セッション数、ノードのリソース使用率などのパフォーマンスをグラフで表示します。これは、アプリケーションをホスティングするノードのSystem Performanceデータを表示するドメイン間レポートです。 |
| | RUMエンドユーザーグループと場所のエクスペリエンス | BPMおよびRUMから収集した履歴合成およびリアルデータにそれぞれ基づいて、上位5つと下位5つのエンドユーザーグループおよび場所のリストを表示します。 |
| | RUM上位5個のアクション | 可用性で上位および下位のアクション各5個、成功数で上位および下位のソフトウェア要素各5個、CPU使用率で上位および下位のノード各5個を表示します。これは、ビジネスアプリケーションをホスティングするノードのSystem Performanceメトリックデータを表示するドメイン間レポートです。 |
| | RUM上位10個のリンク切れ | リンク切れイベントを最も多く生成した上位10個のビジネスアプリケーションを表示します。 |

Synthetic Transaction Monitoring

Synthetic Transaction Monitoring (BPM) レポートは、BPMトランザクションのパフォーマンス、可用性、ステータスに関する要約情報および詳細情報の両方を表示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|-----------------|--|
| Executive Summary | BPMアプリケーションサマリー | 選択したビジネスアプリケーションについて、指定期間中のパフォーマンスと可用性の全体的な概要を表示し、加えて該当アプリケーションのトランザクションのパフォーマンスを表示します。 |
| | BPMエラーサマリー | 選択したビジネスアプリケーションについて、指定期間中に発生した全エラーの統合ビューを示します。このレポートは、ビジネスアプリケーション、ビジネストランザクションフロー、ビジネストランザクション、場所、およびエンドユーザーグループについて、それぞれのエラー件数詳細も表示します。 |
| | BPMエグゼクティブサマリー | すべてのビジネスアプリケーション、ビジネストランザクションフロー、場所、およびエンドユーザーグループについて、指定期間中の応答時間 (ミリ秒単位) および可用性 (パーセント) を表示します。 |
| | BPM上位5個のインスタンス | 指定期間中の可用性 (パーセント) または応答時間に基づいて、上位および下位の各5個のビジネスアプリケーション、ビジネスアプリケーションフロー、場所、およびエンドユーザーグループを表示します。 |
| | BPMアプリケーションの可用性 | 選択した期間にわたり1時間単位で、BPMアプリケーションの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------|----------------|---|
| Performance | BPMネットワーク分析 | Webトレースによって収集されたデータに基づき、選択したビジネスアプリケーションのトランザクションについて、指定期間中のネットワーク分析を表示します。 |
| | BPMパフォーマンスサマリー | 選択したビジネスアプリケーション、ビジネストランザクションフロー、エンドユーザーグループ、および場所について、指定期間中の平均応答時間および失敗数 (パーセント) を表示します。 |
| | BPMトランザクション分析 | 選択した期間中に実行された (特定のビジネスアプリケーションの) ビジネストランザクションのパフォーマンスと可用性に関する統合情報および詳細情報を表示します。 |

Service Health

Service Healthレポートは、ビジネスサービスの総合的な状況の概要と、各構成アイテム (CI) の主要パフォーマンス指標 (KPI) の要約を示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|-------------|--|
| 該当なし | KPIの概要 | 選択したCIタイプに属するCIの指定期間のKPIステータスを表示します。加えて、CIのKPIステータスを前回のデータ収集日として表示します。 |
| | 状況インジケータの概要 | 前月の、選択したCIタイプの状況インジケータ (HI) のステータスを表示します。加えて、前日のHIのステータスも表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------------------|-------------------|--|
| | KPIによって上位N CI | 指定したKPIとビジネスビューで危険域ステータスの期間 (パーセント) が最も高い上位N (5、10、15) 個のCIを表示します。 |
| | KPI別の上位N 個のドメイン | ドメインに属する最上位CIの可用性KPIおよびパフォーマンスKPI別で、危険域ステータスの期間 (パーセント) が最も高い上位N (3、5、10) 個のCIを表示します。ドメインは、すぐに使用可能なビューのグループとして定義されます。たとえば、「System Management」ドメインは、SiteScopeおよびOperations Agentの監視対象ノードを取得するために使用されるビューを表します。ドメインについての可用性KPIおよびパフォーマンスKPIの危険域ステータスの期間は、そのドメインに属するビューの上位CIに基づき計算されます。 |
| Service health trend | 経時の状況インジケーターステータス | CIの選択したリストについて、一定期間のHIのステータスを表示します。 |
| | 経時のKPIステータス | CIの選択したリストについて、一定期間のKPIのステータスを表示します。 |

第3章: Infrastructure Management

Infrastructure Managementカテゴリには、ビジネスサービスの基礎となるITインフラストラクチャに関する情報が収められます。

Enterprise Application Management

Enterprise Application Managementフォルダーには、Oracle WebLogic、IBM WebSphere、Microsoft Active Directory、Microsoft Exchange Server、Microsoft SQL Server、Oracle Database といったエンタープライズアプリケーションに関連するレポートが収められます。

IBM Websphere

IBM WebSphereレポートは、ビジネスサービスの基礎となるIBM WebSphereサーバーに関する可用性、使用率、およびパフォーマンスの情報を表示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|---------------------------|--|
| Executive Summary | WebSphereの上位Nサマリー | 選択したビジネスサービスについて、選択した期間における、Java仮想マシン (JVM) のメモリ使用率、スレッドプールの使用率、EJB使用率、およびJDBC使用率に基づいた上位N (5、10) 個の JEEサーバーインスタンスを表示します。 |
| | WebSphere サブレットパフォーマンスの概要 | 選択した期間において、指定したシステムおよびJEEサーバーにホスティングされるすべてのサブレットの秒あたりの要求数とミリ秒単位の実行時間を表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------|----------------------------|---|
| | WebSphereスレッドプールパフォーマンスの概要 | 選択したシステムおよびJEEインスタンスについて、すべてのスレッドプール内の同時にアクティブであったスレッド数とスレッド合計数を表示します。 |
| | WebSphereエグゼクティブサマリー | WebSphereサーバーとその実行場所であるノードに関するシステム情報を示すドメイン間レポート。そこには、ノードのインベントリ情報、容量使用率、およびノードのサービスのグレード (GoS) サマリーが示されます。また、WebSphereノードからの着信メッセージの重要度も表示されます。加えて、次の30日間のノードの予測情報も表示されます。 |
| | WebSphereサーバーの可用性 | 特定の期間における、選択したノード上で実行されるWebSphereサーバーの平均の可用性に関する情報を表示します。選択した期間にわたり1時間単位で、WebSphereサーバーの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップも表示します。 |
| Performance | WebSphereサブレットパフォーマンス詳細 | 選択した期間において、指定したシステムおよびJEEサーバーにホスティングされるサブレットに対する秒あたりの要求数およびそれらの要求に応答するために要した時間を表示します。 |
| | WebSphereサーバーの可用性詳細 | 選択したノード上にあるサーバーに関して、選択したサーバーが稼働中であった時間の長さ、停止していた時間の長さ、および不明の時間を表示します。選択した期間にわたり1時間単位で、WebSphereサーバーの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|-------------------------------|---|
| | WebSphereトランザクションパフォーマンス詳細 | 選択した期間におけるコミット率、ロールバック率、タイムアウト率に基づいた、選択したシステムおよびJEEサーバーインスタンスのトランザクションのパフォーマンスを表示します。 |
| | WebSphere JVM使用率詳細 | 選択した期間における、選択したシステムおよびJEEサーバーのJVMによって使用される空きヒープ領域およびメモリを表示します。 |
| | WebSphere プールのスループットおよび待機時間詳細 | 選択した期間における、秒あたりの正常に割り振られた接続の数と、選択したJDBC接続プールからの接続をクライアントが待機しなかった時間の長さを表示します。 |
| | WebSphere JDBC使用率詳細 | 選択した期間における、選択したシステムおよびJEEサーバーインスタンスに使用されている接続プールからの接続の割合を表示します。 |
| | WebSphere EJBパフォーマンス詳細 | 選択した期間における、分あたりの実行されたEJBメソッド呼び出しの数、その呼び出しに対してEJBプールが応答するのに要した時間(ミリ秒単位)、プールからEJBを取り出すための呼び出しが失敗した回数のパーセンテージ、およびEJBプールの平均サイズを表示します。 |

Microsoft Active Directory

Microsoft Active Directoryレポートは、すべてのドメインコントローラー (DC)、グローバルカタログ (GC) の複製時間および複製ステータス、各ロールマスターのFSMO (Flexible Single Master Operation) のロール移譲ステータス、およびすべてのDCでのCPU、メモリ、ディレクトリ情報ツリー (DIT) ディスク、およびログファイルディスクの使用率詳細を通して、データの一貫性に関する情報を示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|-------------|---|
| Executive Summary | AD可用性 | 指定したビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループについて、選択したDCのドメインの可用性詳細を表示します。 |
| | FSMOロールホルダー | 指定したビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループについて、ある特定の期間中のさまざまなDC間でのFSMOロール移動の成功または失敗に関する情報を表示します。 |
| Performance | DC - GC複製遅延 | DCサーバーとGCサーバーの間の複製における遅延時間の要約を表示します。 |
| | DC容量 | 選択した期間における、Active Directoryサービス上で稼働している選択したDCのCPU、メモリ、およびログファイルメモリの容量を表示します。 |
| | DC稼働状態 | 選択した期間におけるLSASSプロセスのレプリケーション遅延、CPUおよびメモリ使用率の傾向分析に基づきDCの状況を探索できます。 |
| | DC可用性の詳細 | 指定したビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループについて、選択したDCのドメインの、アップタイム、ダウンタイム、不明時間、計画ダウンタイムや免除ダウンタイムなどの可用性詳細を表示します。 |
| Adhoc | ADアドホック比較 | 選択した期間における、ディスクキュー長、DITディスク領域、ログファイルキュー長、ログファイルディスク領域、レプリケーション遅延に基づき選択したDCを比較できます。 |

Microsoft Exchange

Microsoft Exchangeレポートは、エッジトランスポートサーバー、ハブトランスポートサーバー、メールボックス、パブリックフォルダー、エッジトランスポートサーバーとハブトランスポートサーバーが稼働するActive Directoryサイト、およびExchangeサイトサーバーに関して、パフォーマンスの詳細を示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|----------------------------|--|
| Executive Summary | Exchangeサイトエグゼクティブサマリー | 選択したサイトについて、ユーザー数およびメッセージ数、クライアントアクセス詳細、配信通知、およびSMTP使用に関する詳細を表示します。 |
| | Exchangeソースメールとターゲットメールの比較 | 選択したExchange Serverのリストについて、選択した期間における、内部での送受信メッセージ数と外部での送受信バイト数の比較を表示します。 |
| | Exchange上位N個のメール送信者と受信者 | 選択した期間における、指定したサーバー上での上位N (5、10) 人のメッセージ送信者と受信者のリストを表示します。 |
| | Exchange上位N個のメールボックス | 選択した期間における、指定したサーバーまたはサイトに属する、サイズでソートした上位N (5、10) 個のメールボックスのリストを表示します。 |
| | Exchange上位N個のパブリックフォルダー | 選択した期間における、指定したサーバーまたはサイトに属する、サイズでソートした上位N (5、10) 個のパブリックフォルダーのリストを表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------|--------------------------------|---|
| | Exchangeメールサーバーサマリー | 選択した期間における、指定したサーバーまたはサイトに属するすべてのメールボックスおよびパブリックフォルダーについて、データベースサマリー、ユーザーのサマリー、メッセージカウントサマリーを表示します。 |
| | Exchange Serverの可用性 | 選択した期間にわたり1時間単位で、Exchangeメールサーバーの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |
| Performance | Exchangeメールボックス詳細 | 選択した期間における、選択したメールボックスのメールボックスサイズの詳細と、送信および配信されたメッセージの詳細を表示します。 |
| | Exchangeメールボックス使用率 | 選択した期間における選択したメールサーバーのメールボックスおよびパブリックフォルダーの領域使用率の詳細を表示します。 |
| | Exchangeパブリックフォルダー詳細 | 選択した期間における、選択したパブリックフォルダーのパブリックフォルダーサイズと、送信および配信されたメッセージの詳細を表示します。 |
| | ExchangeハブトランスポートのSMTPおよびDSN詳細 | 選択したExchange Serverについて、特定の期間における、SMTPサーバーの接続詳細と、サーバーから送信者に送信されて失敗および遅延した配信ステータス通知 (DSN) の数を表示します。 |
| | ExchangeエッジトランスポートのSMTP詳細 | 特定の期間における、SMTPバイト数および送受信されたメッセージの数、および選択したExchange Serverに対する着信/発信のSMTP接続の総数を表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|--------------------------|---|
| | Exchangeエッジトランスポートのキュー詳細 | 長期間にわたる選択したExchangeエッジトランスポートサーバーの各キュー内のメッセージ数を表示します。 |

Microsoft SQL Server

Microsoft SQL Serverレポートは、SQL Serverデータベースおよびこれらのデータベースサーバー上で動作するインスタンスのパフォーマンス、状況、およびリソース要件に関する情報を表示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|---------------------------------|--|
| Executive Summary | MSSQLパフォーマンスサマリー | 選択したビジネスサービスについて、特定の期間における、SQL Serverインスタンスおよびこれらのインスタンスをホスティングするノードの主要パフォーマンスメトリックに関する情報を表示します。 |
| | MSSQL表領域の使用量の上位N | 選択したノード、SQL Serverインスタンス、およびSQL Serverデータベース内の利用可能領域が最小である上位N (5、10) 個のテーブルに関する比較情報を表示します。 |
| | MSSQLデータベースおよび上位N個の仮想デバイス領域の使用率 | 選択したノードの利用可能な空き領域に基づいて、上位N (5、10) 個のSQL Serverデータベースおよび仮想デバイスをリスト表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------|-----------------------|--|
| | MSSQLインスタンスの可用性 | 特定の期間における、選択したノード上で実行されるデータベースインスタンスの可用性に関する情報を表示します。選択した期間にわたり1時間単位で、Microsoft SQLインスタンスの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |
| Performance | MSSQLデータベースの入出力統計 | 選択したノードおよびSQL Serverインスタンスについて、特定の期間におけるデータベースインスタンスの未解決の読み取りおよび書き込み速度に関する情報を表示します。 |
| | MSSQLサーバートランザクションサマリー | 選択したノードおよびSQL Serverインスタンスについて、特定の期間におけるトランザクションの詳細のサマリーを表示します。 |
| | MSSQLデータベース領域の使用率詳細 | 選択したノードおよびSQL Serverインスタンスについて、特定の期間におけるSQL Serverデータベースの領域使用率を表示します。 |
| | MSSQLデータベース領域の使用率詳細 | 特定の期間における、選択したノード、SQL Serverインスタンス、およびデータベース上の表領域によって使用される領域の集約量を表示します。 |
| | MSSQL仮想デバイス領域の使用 | 特定の期間における、選択したノードおよびSQL Serverインスタンス上で稼働する仮想デバイスによって使用される領域に関する情報を表示します。 |
| | MSSQLユーザー接続サマリー | 選択したノードおよびSQL Serverインスタンスについて、特定の期間におけるデータベースインスタンスへのユーザー接続に関する情報を表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|------------------------|--|
| | MSSQLデータベースロックサマリー | 選択したノードおよびSQL Serverインスタンスについて、特定の期間におけるSQL Serverデータベースによるデータベースロック使用のサマリーを表示します。 |
| | MSSQLデータベースパフォーマンスサマリー | 特定の期間における、選択したノードおよびSQL Serverインスタンスの主要データベースパフォーマンスメトリックに関する情報を表示します。 |
| | MSSQLインスタンスの可用性詳細 | 特定の期間における、選択したノード上で実行されるデータベースインスタンスの可用性に関する情報を表示します。選択した期間にわたり1時間単位で、Microsoft SQLインスタンスの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |

Oracle

Oracleレポートは、ご使用のIT環境で利用可能なOracleデータベースサーバーおよびこのデータベースサーバー上で実行されるインスタンスに関するパフォーマンス、状況、およびリソースの要件情報を表示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|-------------------------|--|
| Executive Summary | データベースOracleエグゼクティブサマリー | 指定のビジネスサービスのOracleインスタンスの可用性およびメモリ負荷を表示します。また、そのOracleインスタンスをホストするノードの平均メモリおよびCPU使用率のグラフも表示されます。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------|---|---|
| | データベース Oracle上位10個のインスタンスと表領域 | 利用可能な空き領域および表領域の入力または出力に基づいて、上位10個のOracle表領域を表示します。上位および下位10個のOracleインスタンスも、稼動時間と利用可能な空き領域に基づいて表示します。 |
| | Database Oracle Top 5 Instances Load and Efficiency | 選択したビジネスサービスについて、最も使用量の高い5つのOracleインスタンスと、パフォーマンス上の問題が大きい5つのOracleインスタンスを表示します。 |
| | データベース Oracleインスタンスの可用性 | 特定の期間における、選択したノード上で実行されるデータベースインスタンスの可用性に関する情報を表示します。選択した期間にわたり1時間単位で、Oracleインスタンスの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |
| Performance | Database Oracle Instance Availability Detail | 選択したノード上で実行されている指定されたインスタンスの指定の期間に対する可用性を表示します。選択した期間にわたり1時間単位で、Oracleインスタンスの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |
| | データベース Oracleインスタンス領域の使用率詳細 | 選択したOracleノード上で実行されるすべてのOracleインスタンスによって使用される領域の合計量を表示します。 |
| | データベース Oracle表領域の使用率詳細 | 特定のOracleノードのインスタンス上で実行される選択した表領域の集約領域量を表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|---|--|
| | データベース Oracle表領域 詳細 | 指定のノード上で実行される選択したインスタンスの平均のテーブルスペース使用率を表示します。 |
| | データベース Oracleのディスクおよびメモリソート詳細 | 選択したOracleノード上で稼働する選択したインスタンスのディスクソート率およびメモリソート率を表示します。 |
| | データベース Oracleの共有プールとキャッシュパフォーマンス 詳細 | 特定のOracleノード上で実行される選択したインスタンス用のOracle共有プールおよびキャッシュの状況およびパフォーマンスを表示します。 |
| | データベース Oracleセグメント 詳細 | 特定のOracleノード上で実行される選択したインスタンスで利用可能なエクステンツおよびセグメントのパフォーマンスを表示します。 |
| | データベース Oracleアーカイブデバイス 詳細 | 選択したノードおよびインスタンス上で稼働する選択したインスタンスのアーカイブデバイス使用量を表示します。 |
| | データベース OracleのSQL パフォーマンス 詳細 | 選択したOracleノード上で実行される特定のインスタンスのSQLパフォーマンスを表示します。このレポートを使用して、各インスタンスのSQLパフォーマンスを分析し、異なるトランザクション負荷ごとにSQL効率を保存することができます。 |

Oracle WebLogic

Oracle WebLogicレポートは、ビジネスサービスの基礎となるOracle WebLogicサーバーのプロセス、状況、および可用性に関する情報を示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|-------------------------|---|
| Executive Summary | WebLogicサーバーパフォーマンスサマリー | 選択した期間において、指定したシステムおよびJEEサーバーにホスティングされるすべてのサーバーレットの秒あたりの要求数とミリ秒単位の実行時間を表示します。 |
| | WebLogicの上位Nサマリー | JVMメモリ使用率、実行キュー待機数、JDBC遅延時間、およびEJB待機率に基づいた上位N (5、10) 個のシステムのリストを表示します。 |
| | WebLogic JDBC接続プールサマリー | 平均遅延時間、リーク率、平均使用パーセンテージ、および平均スループット率に基づいて、上位および下位の5つのJDBC接続プールを表示します。 |
| | WebLogicエグゼクティブサマリー | WebLogicサーバーとその実行場所であるノードに関するシステム情報を示すドメイン間レポート。そこには、ノードのインベントリ情報、容量使用率、およびノードのGoSサマリーが示されます。また、WebLogicノードからの着信メッセージの重要度も示されます。加えて、次の30日間のCPU、メモリ、ファイルシステム領域の不足が発生する可能性のあるWebLogicノードの数量も表示されます。 |
| | WebLogicサーバーの可用性 | 選択した期間にわたり1時間単位で、WebLogicサーバーの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------|----------------------------|---|
| Performance | WebLogic JMS パフォーマンス詳細 | 選択したJMSサーバーを介して渡された秒単位のメッセージ数およびバイト数と、これらのメッセージおよびバイトによって占有されたそのJMSサーバーのパーセンテージを表示します。 |
| | WebLogic EJB キャッシュ ヒット | キャッシュ内の使用済みEJBのパーセンテージを表示します。このレポートは、選択した期間における選択したWebLogicインスタンスのキャッシュヒットのパーセンテージの平均値と最大値を表示します。 |
| | WebLogic JVM 使用率 | 選択した期間における、選択したノードおよびJEEサーバーのJVMによって使用される空きヒープ領域およびメモリを表示します。 |
| | WebLogicサーバーの可用性詳細 | 選択したノード上にあるサーバーに関して、選択したサーバーが稼働中であった時間の長さ、停止していた時間の長さ、および不明の時間を表示します。選択した期間にわたり1時間単位で、WebLogicサーバーの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |
| | WebLogicトランザクション パフォーマンス詳細 | 選択したノードについて、秒あたりの処理されたトランザクションの数と、各トランザクションに要した平均コミット時間を表示します。 |

Mashup reports

Mashup Reportフォルダーには、システム管理CPUヒートチャート、メモリヒートチャート、VMwareクラスターインベントリに関連するレポートが含まれます。

| レポートグループ | レポート名 | Description |
|----------|-------------------------|--|
| 該当なし | SM CPUヒートチャート | 選択したビジネスサービス、ビジネスビューまたはノードグループに基づいた、上限および下限のしきい値を超えたシステム管理の平均CPU使用率を表示します。 |
| | SMメモリヒートチャート | 選択したビジネスサービス、ビジネスビューまたはノードグループに基づいた、上限および下限のしきい値を超えたシステム管理の平均メモリ使用率を表示します。 |
| | SM仮想化のVMwareクラスターインベントリ | VMwareクラスターのCPU容量、メモリ容量、ESXノード数、論理システム数といったクラスターインベントリの詳細を表示します。 |

Network

Networkレポートは、ビジネスサービスの観点からシステムとネットワークデバイスのパフォーマンス傾向の概要を表示する、監視対象ネットワークデバイスの状況分析に役立つレポートです。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|-------------------------|--|
| Executive Summary | ネットワークおよびシステムノードインベントリ | すべてのネットワークおよびシステムノードのインベントリを、場所と指定期間中のパフォーマンスに基づいて表示します。このレポートは、NNMi SPI for PerformanceおよびNetwork Performance Server (NPS) から収集されるネットワークデータと、System Managementレポートから取得されるノードのリソース使用率情報を表示するドメイン間レポートです。 |
| | ネットワークデバイスパフォーマンスサマリー | システムおよびネットワークデバイスについて、指定期間中のパフォーマンス傾向の要約ビューを示します。このレポートを使用して、選択した測定値でパフォーマンスのベースライン値を上回るノードを分析できます。 |
| | ネットワーク予測サマリー | ネットワークノードの現在のCPUおよびメモリ使用率(平均および最大)と、次の30日、60日、および90日の期間の予測使用率を表示します。また、ネットワークインタフェースについて、現在のI/O使用率、エラー率、および破棄率と、次の30日、60日、および90日の期間の予測を表示します。 |
| | ネットワークノードベースラインのクイックビュー | IT環境内に存在するネットワークノードの複数のグループに関し、CPU、メモリ、バックプレーン、バッファなど、ネットワーク固有の各種測定値について指定期間中のベースライン傾向(上限および下限を含む)を表示します。 |
| | ネットワークノードベースラインの例外のサマリー | ネットワークノードのグループにおけるネットワーク固有の各種測定値について、指定期間中のベースライン例外数および例外率の傾向を表示します。このレポートは、ノードレベルの例外の詳細も表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|-------------------------------|--|
| | グループ別のネットワークノード稼働状態 | 選択したビジネスサービス、ビジネスビューまたはノードグループをサポートするすべてのネットワークノードのグループについて、リソース使用率、例外率、エラーおよび破棄率、可用性に基づき、ネットワークデバイスの分布をグラフで表示します。このレポートは、選択したグループ内の各ネットワークノードについてリソース使用率の詳細も表示します |
| | パフォーマンス別の上位10個のネットワークノードとシステム | 指定期間中のパフォーマンスで上位のネットワークおよびシステムノード10個を表示します。このレポートは、Network Performance Server (NPS)から収集されるネットワークデータと、System Managementレポートから取得されるノードのリソース利用率情報を表示するドメイン間レポートです。 |
| | 上位N個のネットワークノードとインタフェース | 特定のネットワークベースライン測定値で指定期間中の上位5個および上位10個のネットワークノードおよびインタフェースを表示します。 |
| | ネットワークノード可用性 | 選択した期間にわたり1時間単位で、監視対象ネットワークノードの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |

Operations (HPOM)

HPOMレポートは、特定の HPOM 管理サーバーの管理コンソールに送信されたメッセージに関する詳細情報を示します。これは、重要度と解決時間に基づいてメッセージの傾向を分析するのに役立ちます。これにより、ビジネスサービスのパ

パフォーマンスが影響を受ける前に、根底にあるボトルネックに対する事前対策を講じて解決することができます。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|---------------------------|--|
| 該当なし | HPOMメッセージの詳細 | アクティブなメッセージや承認済みメッセージの数、メッセージの経過時間および解決時間など、設定済みの各HP Operations Manager (HPOM) 管理サーバーのコンソールへ送信されるメッセージに関する指定期間中の詳細を表示します。 |
| | HPOMメッセージのトレンドおよび応答性 | 各HPOM管理サーバーのコンソールに送信されるメッセージについて、指定期間中の合計数と、その受信確認に要した時間を表示します。 |
| | HPOMオペレーターの詳細 | 設定済みの全HPOM管理サーバーのコンソールに対して送信されたメッセージについて、指定期間中のメッセージ数やメッセージの解決時間など、オペレーター関連の詳細を表示します。 |
| | HPOMサービスログ | 選択したサービスが異なる状態 (または重要度) にあった時間の長さを表示します。 |
| | HPOMの上位10個のアクティブメッセージレポート | 設定済みの全管理サーバーの中で、指定期間中のアクティブなメッセージ数が最多であったアプリケーション、サービス、ノードおよびノードグループを一覧で表示します。アクティブなメッセージの数が多い場合、アプリケーション、サービス、ノード、またはノードグループに問題が起きていて、注意が必要であることを意味します。 |

Service and Operations Bridge (OMi)

OMiレポートは、HP Operations Manager (HPOM) によって生成されたイベントに関する情報を示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|----------------------|---|
| 該当なし | OMiイベントサマリー | すべてのCIの総括的なイベントサマリーおよびイベント持続期間サマリーを表示します。このレポートは、指定された日付の最後の30日間に収集されたデータを表示します。 |
| | OMiイベント分布エグゼクティブサマリー | 指定した期間における、アプリケーション、イベントタイプインジケータ (ETI)、およびCIタイプ別のイベント分散のサマリーを表示します。 |
| | OMiイベント予測サマリー | 過去のデータに基づいて、システム、ネットワーク、Microsoft SQLなどの異なるドメインから受信イベントを予測できます。このレポートは、ドメインあたりの受信イベント数およびイベントの平均解決時間が、増加または減少のどちらの傾向にあるかを評価するのに役立ちます。 |
| | イベント別の上位N個のCI | 選択したビジネスビューのコンテキストで入力イベントおよび危険域イベントに基づいた上位N (5、10、15) 個のCIを表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|---------------|------------------------------------|--|
| | イベント別の上位N個のドメイン | 入力イベントおよび危険域イベントに基づいた上位N (5、10、15) 個のドメインを表示します。ドメインは、すぐに使用可能なビューのグループとして定義されます。たとえば、「System Management」ドメインは、SiteScope およびOperations Agentの監視対象ノードを取得するために使用されるビューを表します。入力イベントおよび危険域イベントは、そのドメインに属するビューの上位CIに基づき計算されます。 |
| | ユーザーグループ別OMi イベントバックログのオーバーロード相関関係 | バックログの高オーバーロードに基づいた上位N (5、10) 個のグループを表示します。バックログのオーバーロードは、グループのイベントに対して、「所有するまでの時間」が平均の「所有するまでの時間」の2倍のイベントの割合として定義されます。 |
| Detail Events | ユーザーグループ別のOMi イベント割り当て | 指定した期間において各ユーザーグループに割り当てられたイベントのサマリーを表示します。 |
| | ユーザー別のOMi イベント割り当て | 指定した期間において各ユーザーに割り当てられたイベントのサマリーを表示します。 |
| | CI別のOMi イベントサマリー | 選択したCIに関して、発生したイベントに基づいた総体的なイベント数、イベントのカテゴリ化、イベント重要度カテゴリ化、およびイベントの継続期間を表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------|--------------------|---|
| | ETI別の OMi イベントサマリー | ETIに基づいて、総合的なイベント数、イベントのカテゴリ化、イベント重要度カテゴリ化、およびイベントの継続期間を表示します。 このレポートでデータを表示するには、ServiceHealthのETLコンテンツパックをインストールする必要があります。SHRは、ETIが状況インジケータであるか、およびレポートが生成される前にK_HIディメンションテーブルに取り込まれているかを検証します。 |
| Event Trend | 経時のOMi イベント分布 | CIのイベントに関して、イベント数詳細および分散詳細を表示します。また、イベントの承認、解決、およびクローズに要した時間に基づいたイベントグラフも示します。 |

System Management

System Managementレポートは、IT環境内のリソースの問題が深刻化する前に、問題を予見するために役立ちます。このレポートは、主要システムリソースのパフォーマンスと可用性に関する履歴情報を表示します。過去の問題を解決するために実行されたアクションを分析する場合に役に立ちます。さらに詳細なエグゼクティブレポートから詳細レポートにナビゲートして問題の根本原因を分析できます。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|--------------------|--|
| Executive Summary | SMエグゼクティブサマリー | 指定のビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループのシステムについて、インベントリ、システムリソースの現在および予測の容量および使用率のデータのサマリーをシステムの可用性、GoSおよび例外とともに表示します。 |
| | SMヒートチャート | 指定のビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループについて、CPU使用率、メモリ使用率、物理ディスク入出力率、およびネットワーク入出力率に対して定義したしきい値を超えたシステムを特定できます。 |
| | SMシステムの可用性サマリー | ノードについて、指定期間中の可用性の詳細を表示します。平均稼働時間と平均ダウンタイム(パーセンテージ)、および合計稼働時間と合計ダウンタイム(時間単位)がテーブルに一覧表示されます。このレポートは、可用性のしきい値を超えるノードを特定するのに役立つ可用性ヒートチャートも全ノードについて表示します。 |
| | グループ別のSMシステム例外レポート | 指定の期間における、定義済みの各ノードグループの例外の数量を表示できます。 |
| | SMシステムの予測サマリー | IT環境内で監視対象となっている全物理システムと全仮想ホストについて、現在のCPUおよびメモリ使用率(平均および90パーセンタイル)のサマリーを示します。また、次の30日、60日、および90日の期間について、物理システムと仮想ホストのCPUおよびメモリ使用率の予測を表示します。レポートは予測情報をグラフ形式と表形式の両方で表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|--------------------------------|--|
| | SMシステムのグループ別サービスグレード | ノードグループのサービスのグレード (GoS) を該当グループのリソース使用率に基づいて表示します。異なるグループ間でGoSを比較したり、ドリルダウンしてグループの各ノードのGoSを表示できます。 |
| | SMシステムインベントリ | ビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループ内のシステムの主要リソースの全体的な情報と値を表示します。 |
| | SMシステムリソースの停止予測サマリー | 指定のビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループについて、今後30、60および90日以内に、CPUおよびメモリの使用率の100%しきい値を越えると予測されているシステムを表示します。 |
| | SM上位5個と下位5個のシステム | 指定期間中の平均可用性とCPUおよびメモリ使用率に基づいた上位および下位のシステム5個を表示します。 |
| | 空き領域の使用率でのSM上位および下位10のファイルシステム | 指定期間中の空き領域の使用率に基づいて、パフォーマンスが上位および下位各10個のファイルシステムを表示します。 |
| | SMシステムの可用性 | 選択した期間にわたり1時間単位で、監視対象システムノードの平均可用性を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------|--------------------|---|
| Performance | SMシステムの可用性詳細 | 選択したノードについて、指定期間中の稼働時間、ダウンタイム、および可用性のパーセンテージを示します。選択した期間にわたり1時間単位で、監視対象システムノードの可用性の詳細を事前定義済みのしきい値に基づいたヒートマップとして表示します。 |
| | SMシステムの例外詳細 | CPU、メモリ、実行キュー、スワップ、メモリページアウト率など、リソース使用率に関するしきい値と、選択したシステムで指定期間中に見つかったしきい値違反を表示します。 |
| | SMシステムのサービスグレードの詳細 | 選択したノードについて、指定期間中のCPU、メモリ、実行キュー、スワップ使用率などのリソース使用率に基づきGoSを表示します。 |
| | SMシステムの使用率詳細 | 選択した各ノードについて、指定期間中のCPU、メモリ、ネットワーク入出力率、およびディスク入出力率の使用率をグラフで表示します。 |
| | SMファイルシステムの使用率詳細 | パフォーマンスが最良および最悪の各10個のファイルシステムについてきめ細かい詳細を表示します。 |
| 動作レポート | ノードリソース | 選択したノードのパフォーマンスメトリックを年別、月別、日別、および5分間-(割合データ)レベルのデータ粒度で表示します。 |
| | NRTリソース使用率 | 選択したノードと選択したメトリックのリソース使用率の傾向を過去24時間にわたり5分間(割合データ)の粒度で表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|-----------------|---|
| | NRTリソース使用率 - 傾向 | <p>選択したノードのリソース使用率の傾向を以下の期間にわたり表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去24時間にわたり5分間 (割合データ) の粒度 過去31日間にわたり時間別 (時間別データ) の粒度 過去3か月間にわたり日別 (日別データ) の粒度 |

Virtualized Environment Management

Virtualized Environment Managementレポートは、IT環境にインストールされている仮想マシン (VM) およびその仮想マシンをホスティングする物理システムに関するパフォーマンスデータを表示します。

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------------|-----------------|---|
| Executive Summary | SM仮想化のホストインベントリ | オペレーティングシステム、モデル、プロセッサアーキテクチャー、CPU速度、CPU数、ディスク数、使用ネットワークインタフェースカード数、およびこれらを使用して動作している論理システム数など、物理ノードの主要測定値を表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|-------------------------|---|
| | SM仮想化の論理システムインベントリ | IT環境の各物理ノードでホストされる論理システムのインベントリの詳細を表示します。このレポートは、ノードのオペレーティングシステム、ノードのモデル、CPU速度、CPU数、物理メモリ、使用されている仮想技術など、物理ノードのサマリーを表示します。このレポートは、各ノードについて、そのノード上にホスティングされているすべての論理システムと、VMのオペレーティングシステム、VMの状態、割り当てられているディスク数およびLAN数、CPUとメモリの最大/最小エンタイトル数(量)を表示します。 |
| | SM仮想化の論理システムパフォーマンスサマリー | 選択したすべての論理システムについて、指定期間中のCPU使用率やメモリ使用率など、パフォーマンスの詳細をグラフで表示します。このレポートを使うと、物理ノードと論理システムのCPU使用率を比較できます。また、指定期間中の論理システムの可用性傾向も表示します。 |
| | SM仮想化リソースの停止予測サマリー | 指定のビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループについて、今後30、60および90日以内に、CPUおよびメモリの使用率の100%しきい値を越えると予測されている物理システムを表示します。影響を受ける物理システムでホスティングされている仮想マシンも表示されます。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|-------------|---------------------------|--|
| | SM仮想化の上位および下位N論理システム | 指定のビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループについて、CPU使用率、メモリ使用率、可用性、ハイパーバイザタイプなどの選択した測定値に基づいた上位および下位N (5、10、20) 個の論理システムを表示します。 |
| | SM仮想化の上位または下位のNノード | 指定のビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループについて、CPUおよびメモリの使用率、OSタイプなどの選択した測定値に基づいた、論理システムをホスティングする上位および下位N (5、10、20) 個の物理システムを表示します。 |
| | SM仮想化の仮想インフラストラクチャインベントリ | IT環境内の各種仮想技術に関し、ホストとVMの数、オペレーティングシステムのタイプ別論理システム数、割り当てられているリソースなど、インベントリ詳細をグラフで表示します。このレポートは、各仮想技術について、ホスト総数、VMの数と密度、CPU総数、予約されていないCPU数も表示します。 |
| Performance | SM仮想化の論理システムパフォーマンス詳細 | 指定の期間における、選択したVMの可用性、CPU使用率、エンタイトルされたメモリ使用率を表示します。 |
| VMware | SM仮想化のVMware クラスタ詳細インベントリ | 選択したクラスター内のESXノード、リソースプール、および論理システムについて、CPUとメモリの容量、CPUとメモリの制限、CPUとメモリの予約量、ディスクの数、ネットワークインタフェースの数などのインベントリ詳細を表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|--------------------------------|---|
| | SM仮想化のVMware ESXサーバー詳細インベントリ | 選択したノードの論理システムおよびリソースプールについて、CPUとメモリの制限、CPUとメモリの予約量、ディスクの数、ネットワークインタフェースの数、仮想CPU数、CPU共有などのインベントリ詳細を表示します。 |
| | SM仮想化のVMwareインベントリ | VMwareクラスターおよび非クラスターESXノードのインベントリ詳細を表示します。インベントリ詳細には、CPU速度、CPUとメモリの容量、ノードと論理システムの数、VMの密度、CPUのコア数、ディスクの数、ネットワークインタフェースの数などがあります。 |
| | SM仮想化のVMware論理システムのCPUボトルネック詳細 | 選択した論理システムについて、指定期間中のCPU使用率および使用したCPUサイクルを表示します。この情報を使って、論理システム内のCPUに関連するボトルネックを特定できます。 |
| | SM仮想化のVMware論理システムのメモリボトルネック詳細 | 選択した論理システムのエンタイトルメモリおよび物理メモリの平均使用率を表示します。このレポートは、メモリの平均のスワップイン、スワップアウト、およびオーバーヘッドの比較を示します。また、平均エンタイトルメモリおよび平均物理メモリの使用率を比較表示します。 |
| | SM仮想化のVMwareの上位および下位NのESXサーバー | 指定のビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループについて、CPU使用率、メモリ使用率、可用性、ネットワーク入出力率、スワップ使用率などの選択した測定値に基づいた上位および下位N (5、10、15、20) 個のESXサーバーを表示します。 |

| レポートグループ | レポート名 | 説明 |
|----------|-------------------------------|--|
| | SM仮想化のVMwareの上位および下位のNの論理システム | 指定のビジネスサービスおよびビジネスビューまたはノードグループについて、アクティブなメモリ、CPUおよびメモリの使用率、CPU準備時間、不可用性などの選択した測定値に基づいた、ESXサーバーでホスティングされる上位および下位N (5、10、15、20) 個の論理システムを表示します。 |

ドキュメントに関するフィードバックの送信

このドキュメントについてコメントがある場合は、電子メールで [ドキュメントチームにご連絡ください](#)。このシステムで電子メールクライアントが設定されている場合は、上にあるリンクをクリックすると、表題の行に以下の情報が付いた状態で電子メールウィンドウが開きます。

レポートのハンドブック (Service Health Reporter 9.40) に関するフィードバック

電子メールにフィードバックを記入して、送信ボタンをクリックしてください。

使用できる電子メールクライアントがない場合は、上記の情報をWebメールクライアントの新しいメッセージにコピーして、フィードバックを docfeedback@hp.com に送信してください。

お客様からのご意見をお待ちしております。